

あけましておめでとうございます。

今年もこのブログでは、愛知県美の最新のできごとをご紹介します。どうぞよろしくお祈いします。

新年の愛知県美は、今年度最後の企画展「大ローマ展」で幕を開けます。6日からの公開を前に、5日に開会式と関係者の内覧会が行われました。



↑開会式のテープカット。美術館のロビーが満員になるほどの盛会でした。

「大ローマ展」は、古代ローマ帝国の繁栄を当時の作品を通じて紹介する大規模な展覧会です。開会式・内覧会には、ふだんにも増して多くの方が出席されました。イタリア各地から選りすぐられた彫刻、絵画、工芸品や日用品などの貴重な作品は、いずれも約2000年も前のものです（ほぼイエス・キリストの同時代です）。しかし、その遠い時間がかえって不思議に感じられるほど、現代の私たちの目にも色あせていない、美しさ、完成度をそなえています。会場では、日本がまだ弥生時代だったころに、これほど質の高い文明が栄えていたことや、現代に通じるその新しさに驚く声が多く聞かれました。

展示作品には、日本初公開のもの、イタリアでもふだんは見るできないものも多く含まれてお

り、鑑賞のまたとない機会となります。日本でこれだけの規模で古代ローマの遺産が紹介されること自体、めったにないことです。



↑ 《皇帝座像（アウグストゥス）》

ローマ神話の最高神ユピテルの姿になぞらえて作られた、巨大な大理石の皇帝像です。



↑ 《アレツォのミネルヴァ》

紀元前3世紀、ギリシア時代のブロンズ像で、イタリア国外に出ること自体が通常ではありえないとされる重要作品です。



↑（《豹を抱くディオニュソス》）

東京大学の発掘調査団が、ヴェスヴィオ山麓で発掘し、大きな話題となりました。とても優美な青年像です。

展覧会は、このあと2会場を巡回しますが（青森県立美術館、北海道立近代美術館）、愛知県美が最も西の会場に当たります。関西方面からのお客様も、ぜひお待ちしております。愛知県美での展覧会は3月22日まで。この春、古代ローマへの旅をお楽しみ下さい。

（M. Ma）